普及活動情勢報告（令和８年 10 月分）

須崎農業振興センター農業改良普及課

半年を振り返りましょう　～新規就農者現地巡回～



半年を振り返る
シシトウ生産者

9 月 24～29 日、須崎市および中土佐町で認定新規就農者 11 人の現地確認を関係機関とともに行いました。

農業改良普及課は、就農状況チェックリストをもとに経営規模や作付の変更がないか、栽培で問題はなかったかなど聞き取りました。

生産者からは、「増収を目指し、肥料の種類を変えたがねらった効果がなかった」「今作の反省を踏まえ、次作は反収を増やす」といった声がありました。

農業改良普及課は今後も、新規就農者の営農状況確認や栽培管理指導を行い、目標を達成できるよう支援を行っていきます。

米ナス・小ナスの違いを学ぶ！　～椙原高校出前授業～



米ナスについて熱心に
学習する生徒ら

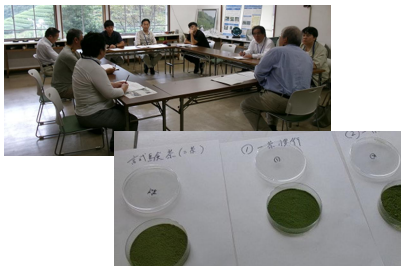
9 月 25 日、津野山地域営農連絡協議会は、県立椙原高等学校の 2 年生を対象に出前授業を開催しました。

農業改良普及課は、「米ナス・小ナスの違いを学ぶ」をテーマに、それぞれの特徴について講義を実施した後、現地の米ナスほ場にて収穫から出荷調製までを説明しました。

生徒は、米ナスの重量感や大きさに驚いたり、収穫後に 1 個ずつ丁寧に果実を拭き、規格別に箱詰めする作業に、「こんなに手間暇がかかることを知らなかった」といった声がありました。

農業改良普及課は今後も、地域の栽培品目を中心に講座や現地で収穫等の実習を実施していきます。

付加価値をつけよう　～津野山二番茶直がけ被覆の品質評価会～



評価した意見を交わす
生産者ら

9 月 28 日、今年度、津野山茶生産組合とともに取り組んだ「二番茶直がけ被覆」の実証ほで生産された粉末茶の評価会を茶業試験場で開催し、実証農家や関係者が参加しました。

農業改良普及課は、評価会において参加者とともに、粉末茶の色、香り、味についての評価を行いました。

参加者からは、「色が少し薄い」「抹茶より煎茶に味が近い？」「思ったよりは味が良い」といった意見がありました。

農業改良普及課は今後も、実証ほを設置しながら茶業試験場と連携して、茶の生産安定に取り組んでいきます。

高温対策実証の中間報告　～ＪＡ土佐くろしお雨よけシシトウ現地検討会～



高温対策実証の中間報告を
行う普及職員

9 月 28 日、中土佐町久礼でＪＡ土佐くろしお雨よけシシトウ現地検討会が開催され、生産者 9 人が参加しました。

農業改良普及課は、高温対策実証の中間報告として、遮熱シートの効果および開閉のタイミング、土壌水分計を活用したかん水管理について説明しました。

実証農家からは、「遮熱シートを使用することで葉の萎れを防ぐことができた」「かん水の量とタイミングが分かるようになった」との声があり、参加者は興味深く説明を聞いてました。

農業改良普及課は今後も、実証の最終結果を周知し、シシトウの高温対策技術の普及につなげていきます。

来作に向けて品種検討！　～ＪＡ高知県津野山土佐甘とう部会現地検討会～



有望品種の試験結果を
説明する普及職員

9 月 29 日、ＪＡ高知県津野山管内で土佐甘とう部会現地検討会が行われ、生産者 5 人が参加しました。

農業改良普及課は、夏の暑さで急増している尻腐れ果が産地の問題となっていることから、今年度実施した‘高育交 1 号’と慣行品種との品種比較試験の結果を報告しました。

生産者からは、「こんなに発生が違うのか」「尻腐れ果が少ないなら栽培してみたい」との声が聞かれました。

農業改良普及課は今後も、甘長トウガラシの生産安定に向けて、生産者や関係機関と尻腐れ対策に取り組んでいきます。

収穫期の栽培管理に注意しよう！　～ＪＡ土佐くろしおにら部会現地検討会～



高温対策の途中経過を
説明している普及指導員

10 月 2 日、須崎市のニラ生産者ほ場で、ＪＡ土佐くろしおにら部会現地検討会が開催され、生産者 5 人が参加しました。

農業改良普及課は、収穫期の管理や病害虫の防除における注意点、高温対策として遮熱資材調査の途中経過について説明しました。

参加者からは、「保護殺菌剤はどの時期に何回程度使用すべきか」「次年度の試験は何にするか決まっているか」といった質問がありました。

農業改良普及課は今後も、遮熱資材調査の最終結果を報告し、ニラの収量と所得向上に向けて情報提供や指導を行っていきます。